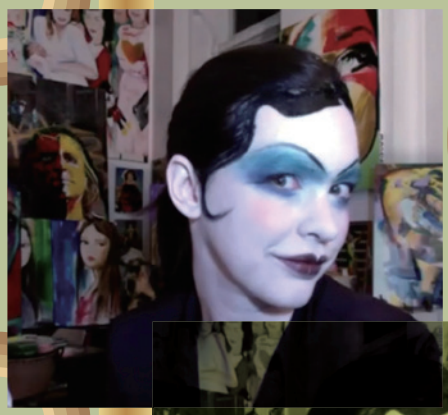
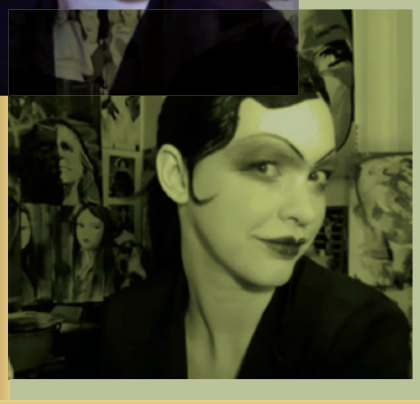
Lingue.
International Beauty Federation Memorial Magazine
vol. 72
Makeup:Kyoko Kosaki Model:Liz-Click Model Management Photo:Linda Mason

# IBF Makeup Photo Contest

主催：IBF国際美容連盟
協賛：ケサランパサラン株式会社
M･A･C
ジョイタス株式会社
http://www.joy-tas.com/



テーマは“Jazz Age throwback”。1920年代のメイクアップを現代に蘇らせてください。今回は約100年前のメイクアップをモチーフにしたメイクアップ作品です。当時の文化やファッションなども調べてみてくださいね。



応募写真は必ず「カラー写真」でお送りください。セピアやモノクロの写真では、メイクアップの基本である色使い、濃淡やグラーデーションのテクニックが評価できないため、必ずカラー写真でのご応募をお願いいたします。みなさん、今年も力作をご応募ください！

※メイクアップイメージ写真はLinda Masonのデモより。

# <IBFフォトコンテスト応募要項>

●**応募資格**：IBF正会員、N.Y. Make-up Academy受講生、卒業生、IBF認定校受講生、卒業生及び一般（※）
※一般の方で、プロのメイクアップアーティスト、メイク／美容関連スクールの講師の方は、コンテストの性質上応募はご遠慮ください。

●**作品テーマ**：「Jazz Age throwback」
1920年代、Jazz Ageの時代のメイクアップがテーマです。
※応募作品は「カラー写真」、目だけなど顔の一部しか無い作品は失格となります。

●**応募費用**：上記応募資格で「一般」の方は応募費用（エントリーフィー）が作品1点に付き1,000円（税込み）かかります。応募費用は指定の銀行口座に振込み（手数料はご負担ください）、応募作品郵送時に振込み控えのコピーを必ず同封してください。
※IBF正会員、NYMA受講生／卒業生、IBF認定校受講生／卒業生は応募費用はかかりません。

●**振込み先**：応募費用（一般の方のみ）の振込み先は下記へお願いします。
**みずほ銀行　大塚支店（普通）2292633　口座名：一般社団法人 国際美容連盟**

●**応募期間**：締め切り：2021年8月31日（事務局必着）

●**応募点数**：一人何点でも応募可能ですが、1応募につき1点とします。
応募費用は1点1,000円です。（一般の方）

●**応募作品**：デジタルデータの場合：CD1枚に1作品を焼いて郵送してください。
アナログ写真の場合：写真は2Lサイズ（12.7cm×17.8cm）にプリントしてご応募ください。
※デジタルデータ推奨

●**応募方法**：作品とは別に、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、受講生／卒業生／正会員／一般の区別、作品のタイトル、作品のコンセプトを明記した紙を同封の上、下記まで郵送してください。
〒171-0022 東京都豊島区南池袋1-25-9　今井ビル5F「IBF フォトコンテスト」係り

●**審 査 員**：特別審査員：Linda Mason / Makeup Artist
特別審査員：Motoko Honjo Clayton / Makeup Artist
ケサランパサラン株式会社 専属メイクアップアーティスト　MONIKA（モニカ）
M･A･C レジデント トレーナー　工藤　孝政
IBF本部講師

●**発　　表**：2021年11月30日発行Linque.誌上で発表します。（グランプリ受賞者には事前に連絡をします）

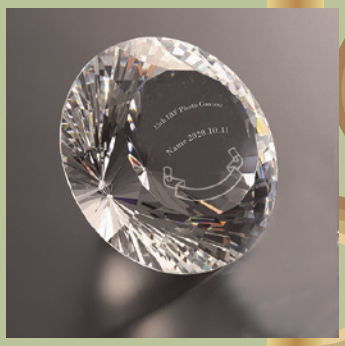
●**賞　　品**：Photo Session ご招待 グランプリ1名
※2021年中に撮影。その他化粧品セットなど各賞あり。

●**注意事項**：画像処理ソフトによる極端な加工が認められた場合、審査対象から外すことがあります。応募作品の返却はできません。応募作品はIBF会報誌、ホームページ、その他一般媒体で公開することがあります。作品の著作権は撮影者に帰属しますが、作品を上記に使用する権利は主催者が所有し、応募者は、無償でこれを許諾するものとします。被写体の肖像権の問題、または作品に第三者の許諾が必要になる場合などの責任はすべて応募者が負うものとします。肖像権その他の権利上の紛争が起きた場合、その費用も含めすべての責任は応募者が負うものとします。他のコンテストなどに重複応募した作品は、応募しないでください。各賞の譲渡、転売はできません。

Linda Mason

M・A・C賞

Motoko


グランプリ副賞

コロナワクチンの普及によって、日常を取り戻しつつある国、相変わらず感染拡大の波に翻弄されている国と明暗が分かれてきました。アメリカでは7月4日の独立記念日にはフルに経済活動を再開させるという発表がありましたね。
ニューヨークでもブロードウェイのミュージカルチケットの販売（9月以降公演）が再開されました。
日本では、目前に迫ったオリンピック、パラリンピックの開催が危ぶまれています。国民の生命とスポーツイベントではどちらを選択するか明白かとは思いますが、いろいろと「大人の事情」もあるようですね。

さて2021年16回目となる恒例の「フォトコンテスト」概要を応募要項を掲載します。テーマは「Jazz Age throwback」。
1920年代アメリカでは「JAZZ」が流行し、当時の若者世代はJAZZ AGEと呼ばれています。ヘアではマルセルウェーブ（フィンガーウェーブ）、メイクでは細眉、小さな唇が特徴的な世代。まだカラーフィルムさえなかった100年前のメイクアップを現代に蘇らせてください。
たくさんのご応募お待ちしています。

## 香咲　弥須子　Profile

IBF理事。New York在住スピリチュアルカウンセラー。
NY DownTownにてヒーリングクラス及びカウンセリングセンターを経営。
作家、翻訳家、エッセイストとしても活躍している。

# パンデミック、一年ののちに。

皆さんにニューヨークからお便りしている今現在、日本はコロナ感染の終息（ましてや収束）の目処はたっていません。ワクチン接種もやっと始まったばかりでしかも混乱を極めています。五輪開催反対論がついに主要メディア全てに登場したようですね。

医療崩壊と聞いても、現場にいる人、現場に近い人でなければ、あまりピンときていないのが正直なところではないでしょうか。コロナ感染で大事な人を亡くした遺族や身近な方達が少なくない一方で、周囲に感染目撃の経験がない人が大多数では。マスクはするけど手洗いはもういい加減になってしまった人、一年以上、今も念入りに手洗い、うがいを励行する人、感染に対する感受性もさまざまの様子です。

ニューヨークのパンデミックの経験の仕方は、日本とは大きく異なっていました。他の多くの出来事と同様に、同じ感染問題でもまったく違う道を歩いてきたと言えるほどに。

一年前の春は、世界最悪の都市、と言われるくらい、感染者も死者も多く、マンハッタンでは24時間、救急車のサイレンが響き渡っていました。目の前で、自分の住まいのビルからご近所さんが担架で運ばれていくのを見ることもあり。そしてロックダウンは完全に人との接触が遮断されるため、正気を保つのに皆、必死でした。

それから一年、今ニューヨークは、ワクチン接種が行きわたり、感染者数は激減し、市長の経済完全再開宣言も出ています。観光客を歓迎するどころか、ワクチン接種もぜひどうぞという受け入れも開始しました。やはりニューヨークは、何に関しても、経験の仕方が極端、強烈、スピーディ、鮮やかなのです。

とはいえ、再開と言っても簡単ではないはずです。他の都市と同様、一年の傷痕は小さくありません。摩天楼は空っぽですし、リモートワークになった従業員たちは、ニューヨークの高額な住居を出て田舎や郊外に転居しました。毎日のように引っ越しトラックが道を塞いでいました。地元で愛された老舗のレストランは閉じられてしまい、日本人人口もかなり減ったと聞いています。

でも、他のあらゆる出来事でそうだったように、ニューヨークはやはりスピーディに立ち上がるでしょうし、また、“元に戻る”ことは目指さないでしょう。次のスタイル、次の方法、次の都市作りの模索をするでしょう。

ニューヨークは、ショービジネス、パフォーミング・アーツのメッカでもあります。劇場が完全に閉じられた一年間、関係者に何が起きたでしょうか。影響の受け方や考えたこと、変化の仕方は千差万別でも、同じものには戻らない、ということだけは共通しています。何か新しい創造が、息を潜めていた間に生まれているからです。

ニューヨークで長く暮らしてつくづく感じること、確信したと言えることは、訳のわからない事態に直面したり、先行きが見えなくて不安になったり、当たり前だったことが消えてしまったり、指針としていたものに価値が無くなったり、積み上げてきたつもりの自信があっけなく崩れたり、つまり、「混沌」を経験すると、人は、「必ず」 創造的になる、ということです。新しい道を見つける、今までより広い空間に出る、前より生き生きとする、創意工夫が実を結ぶ、というような、創造性が姿を表すのです。

このように教わった、セミナーで〇〇さんが言っていた、本にこう書いてあった… という学び方、こうすればいいわけね、というやり方に、私たちは心の底から満足できず、喜びを見いだせないので、いのちの力が、どんな出来事でもそれを道具にして、一度それらを完全に破壊して、心に混沌を作り、一切を一旦お手上げ状態にし、手放し、降参し、そうするうちに混じり合って発酵したエネルギーが、“真に自分らしい、あらゆる面で完璧なライフ”を出現させるのだということです。

同じ境遇に直面した人全員がそうなるということではなく、混沌とした、“壊れてしまった価値観”を受け止めた時だけ、心に積み上がった瓦礫のかけら、散乱したゴミの中で、それらが色彩豊かな一枚の絵に仕上がっていくのをセンス・オブ・ワンダーと共に目撃することができるのだと思います。

これから巡り来る新しい日々を祈りましょう。一枚の傑作を創造しましょう。

「どうなるのでしょうか」「どうしたらいいでしょうか」と唱える代わりに、「今、私に巡り来ていることを受け入れられますように」「今までの価値観で判断したり切り捨てたりせず、今起きていることを歓迎できますように」と祈りながら。毎瞬の筆捌きによって、絵画は完成するのです。その一筆に信頼を込められるよう、祈りましょう。

わたしも、17年やってきたCRSのスペースの半分を手放すことにしました。同じやり方に戻るかどうかと考えた時、答えに迷いがなかったからです。とはいえ、手放す半分の代わりに何を創造するか、その答えはまだわかりません。わからない、ということが、この一年でとても普通になっています。未来より今に心が落ち着いています。

# information

## ■IBF会員情報再登録のお願い

IBF正会員の方、NYMA受講生の方で、IBFからメールマガジン（月間１–２通配信）が届いていない方は正しいメールアドレスが登録されていません。IBFでは、重要事項も含めて、メールでお知らせする方法に切り替えておりますので、IBF会員の皆様には正しいメールアドレスの登録、再登録をお願いしております。大変お手数ですが、該当者（IBFからメールマガジンが届いていない方）は以下のフォームよりメールアドレス登録の更新をお願いいたします。

《メールアドレス登録（再登録）フォーム》**https://www.ibf.or.jp/update_mail_address/update_form.html**

※アップル社ドメイン「icloud.com」をお使いの方へ
アップル社のセキュリティの都合でメールマガジンなどが届きにくい現象が続いています。「icloud」以外のメールアドレス」またはGmail.comなどフリーのメールアカウントを取得してそちらのアドレスで再登録していただきますようお願いいたします。

## ■スクーリング、セミナー等について

ようやく日本でもワクチン接種が始まりましたが、少なくとも年内は、現在の状況が大幅に改善される可能性は低いと思われます。IBF、NYMAでは、2021年8月以降、対面でのスクーリング、セミナーを再開しますが、引き続きオンラインでも開催を継続します。ウェブサイトやメールマガジンの情報をチェックしてください。今後も、引き続きヘアメイクアップアーティスト、あるいは学生様においても、モデルさんやクライアント含めて衛生管理に十分注意をしていただきたくお願いいたします。

## ■N-001　メイクアップ講座オンラインスクーリング（Zoomを使用します）

Zoomを使ったオンラインスクーリング。講師と一緒にベースメイクから始めてフルメイクまで認定試験重要課題の「シャープメイク」「ウェディングメイク」をセルフメイクで行います。
講師によるチェック＆アドバイス、質疑応答もできます。
講師と実際に対話しながら進行しますので、レッスン上の不安解消、疑問点の解消に、ぜひご参加ください。
カメラ/マイク付きのPCまたはスマートフォン、タブレット端末とWi-Fiなどネット環境があればどこからでも参加可能です。

**開催日時：**
2021年6月19日（土）10:00-12:00　シャープメイク
2021年6月29日（火）10:00-12:00　ウェディングメイク
※120分（休憩あり、質疑応答含む）

**参加時必要なもの：**
・カメラマイク付きPCまたはスマートフォン、タブレットなどと常時接続可能な回線環境。
・教材メイク道具、鏡、IBFテキストブック（3冊）

※セルフメイクで行います。メイクを落とした状態で参加してください。
**定　員：**各回６名まで
**参加費：**１回2,750円（税込）
**申　込：**IBFビューティプロショップでチケットを購入してください。
https://www.ibf.or.jp/shopping/products/list?category_id=30

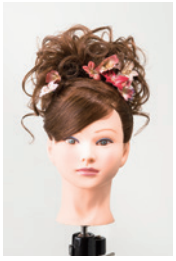
## ■N-002　メイクアップ講座スクーリング（会場開催）

東京会場での対面スクーリング。シャープメイクのレッスンを行います。講師から直接指導を受けられるので、在宅でのレッスンに不安がある方にもオススメ。今回は東京会場で行います。ベースメイク・アイメイク・リップ・チークの各パーツをテーマに沿ってレッスンします。各参加者のレベルに合わせた指導が可能ですので、レッスンを始めたばかりの方もご参加いただけます。
※ホームスタディコース受講中の方は、どなたでも参加いただけます。「シャープメイク」の課題提出を控えている方は写真撮影も出来ます（ご自身のデジカメを持参のこと）ので積極的に参加しましょう。
**開催予定地・日程：**東京8月7日（土）13:00〜17:30
**定　　員：**8名
**参 加 費：**短期集中講座受講中の方（履修票、レッスンガイドに[短期集中講座]と記載されている方）5,500円（税込）
※上記以外のメイク講座受講生は参加費無料です。

**参加資格：**直轄校NYMAホームスタディコース受講生のみ。
**申　　込：**IBFビューティプロショップでチケットを購入してください。
https://www.ibf.or.jp/shopping/products/list?category_id=30

## ■N-003 ヘアスタイリング講座スクーリング（会場開催）

今回は「カールアップ」（写真）を練習します。ホットカーラーを使ったキュートなアップスタイル。ブライダルなどでもリクエストが多いスタイルです。
※ヘアスタイリングベーシックス受講の皆様には、「カールアップ」のプロ用テキストのコピーをプレゼントします！ 予習してきてください。
※ヘアスタイリング講座プロフェッショナルコース受講生は「カールアップ」カリキュラムを予習して参加ください。
※スクーリング開始時に、ブロッキング、ピニングの技術を見させていただきます。
※技術的に自信が無い方、技術が追いつかない方は別メニューになる可能性があります。
※最少催行人数３名。定員になり次第締め切ります。
**開催予定地・日程：**東京8月18日（水）13:00〜17:00
**定　　員：**8名



**参 加 費：**ヘアスタイリングベーシックス受講生：5,500円（税込）
ヘアスタイリング講座プロフェッショナルコース受講生：5,500円（税込）
**参加資格：**上記２講座いずれかを受講中の方、または修了した方。
**申　　込：**IBFビューティプロショップでチケットを購入してください。
https://www.ibf.or.jp/shopping/products/list?category_id=30

## information

### ■スクーリングのお問い合わせ

NYMA指導部　TEL：03-5928-0130（受付時間／平日9:30〜18:00）　customer@nyma.jp

### ■IBF国際美容連盟認定 第74回 国際メイクアップアーティスト試験

2021年7月受験　在宅試験実施要項

**受験資格：**2021年6月30日現在、IBFが指定する各スクール所定のカリキュラムを修了し、修了証書を有している者。
**願書配布：**2021年4月30日から配布。受験対象者にはスクール指導部から送付します。お手元に届かない場合はIBFへ直接請求してください。
**受験料：**11,000円（税込）
**受験料振込先：**みずほ銀行　大塚支店　普通預金　2292633
口座名：一般社団法人国際美容連盟
**振込期間：**2021年7月5日（月）まで
**願書提出期限：**2021年7月5日（月）〈当日消印有効〉
**願書提出先：**「〒171-0022 東京都豊島区南池袋1-25-9　今井ビル5F
国際美容連盟 試験審査委員会　宛」
**試験問題発送日：**2021年7月15日（木）
**解答用紙の提出期限：**2021年8月5日（木）〈当日消印有効〉
**試験科目：**実技／筆記（実技試験にはモデルが必要になります）
**合否発表：**2021年8月26日（木）（郵送予定）
**登録期間：**合否通知到着後〜2021年9月16日（木）
※合格後の手続きになります。
**登録料及び年会費：**登録料…33,000円（税込）
年会費…13,200円（税込）
**認定証発送：**2021年9月27日（月）予定
**願書請求・お問合せ先：**IBF国際美容連盟　03-5928-3800（代）
（受付時間／平日9:30〜18:00）

### ■第44回 国際メイクアップアーティストインストラクター資格認定試験

2021年7月受験　本部試験実施要項
※今回は〈在宅受験〉のみ実施します。会場試験はありませんのでご了承ください。
〈在宅受験〉
直轄校N.Y. Make-up Academyの受講生は在宅受験が可能です。在宅受験の方には試験問題を郵送しますので、在宅で受験し、解答を提出していただきます。

**受験資格：**2021年6月30日現在、IBFが指定する各スクール所定のカリキュラム（アドヴァンストコース フォ プロフェッショナル アンド インストラクター）を修了し、修了証書を有している者。
**願書配布：**受験対象者にはスクールより送付。お手元に届かない場合はIBFへ直接請求してください。
**受験料：**16,500円（税込）
**受験料振込先：**みずほ銀行　大塚支店　普通預金　2292633
口座名：一般社団法人国際美容連盟
**振込期間：**：2021年7月5日（月）まで
**願書提出期限：**2021年7月5日（月）〈当日消印有効〉
**願書提出先：**「〒171-0022 東京都豊島区南池袋1-25-9　今井ビル5F
国際美容連盟 試験審査委員会 インストラクター資格係　宛」
**試験問題発送日：**2021年7月15日（木）
**解答用紙の提出期限：**2021年8月5日（木）〈当日消印有効〉
**試験科目：**実技／筆記（実技試験にはモデルが必要になります）
**合否発表：**2021年8月26日（木）（郵送予定）
**登録期間：**合格通知到着後〜2021年9月16日（木）
※合格後の手続きになります。
**登録料及び年会費：**登録料…16,500円（税込）
年会費…13,200円（税込）
※既にIBF正会員の方は年会費を重複していただくことはありません。
**認定証発送：**2021年9月27日（月）予定
**お問合せ先：**IBF国際美容連盟　03-5928-3800（代）
（受付時間／平日9:30〜18:00）

### ■IB-001　All about M·A·C（オンラインセミナー）

世界中のメイクアップアーティストに愛され続けるM·A·C。今回はM·A·Cレジデントトレーナーの工藤孝政氏を迎えてオンラインセミナーを開催します。M·A·Cのブランドヒストリー、コンセプトやBack Stageトレンド、M·A·Cアーティストの紹介など、M·A·Cを知る90分間のオンラインセミナー。※質疑応答あり

**日　程：**2021年6月26日（土）10:00-11:30
**費　用：**IBF正会員2,805円　受講生2,970円　一般3,300円(税込)
**講　師：**工藤　孝政(M·A·C レジデントトレーナー)
**申　込：**IBFビューティプロショップでチケットをご購入ください。
https://www.ibf.or.jp/shopping/products/list?category_id=30

**工藤 孝政／クドウ タカマサ**
ELCジャパン株式会社M·A·C事業部　セールス エデュケーション エグゼクティブ。2004年12月、M·A·Cアーティストとして入社。カウンターチーフ、営業部、トレーニング部を経て、現在は北日本、関東エリアのM·A·Cカウンターの店舗管理とM·A·Cアーティストの育成を行っている。

# information

## ■IB-002 Special Effect Makeup –Injury makeup ―傷メイクセミナー(会場開催)

2021年もおうちでHalloweenになるのでしょうか？ それぞれ許される環境の中で楽しみたいですね。今回は特殊メイクのトップブランド「TEMPTU」講師による傷メイクワークショップを企画しました！ 本格的な傷メイクを体験してください！ 傷メイクの基本的な作り方をマスターする4時間。特殊メイク用品ならなんでも揃うTEMPTU社がオーガナイズするワークショップを是非体験ください！

**日　程：**2021年9月18日（土）13:00-17:00
**場　所：**東京都池袋セミナールーム
**定　員：**10名
**費　用：**IBF正会員／ DBD検定会員7,480円
加盟校生（卒業生含）7.920円
一般8,800円
**持ち物：**筆記用具・デジタルカメラ等。(特殊メイク基材などはご用意します)
**モデル：**不要（腕、顔などご自身で傷メイクを作ります）
**講　師：**奈須みゆき　TEMPTU JAPAN 専属アーティスト
**申　込：**IBFビューティプロショップでチケットをご購入ください。
https://www.ibf.or.jp/shopping/products/list?category_id=30

**奈須みゆき プロフィール**
数々の映画、舞台、コレクション、雑誌、イベントなどで、タトゥアートや特殊メイクを担当する傍ら専門学校でもエアブラシ、特殊メイクを教えている。舞台「天保12年のシェイクスピア」「NARUTO-ナルト-」「海辺のカフカ-2014-」映画「花より男子」「デトロイトメタルシティ」「宇宙兄弟」「ルパン三世」TV「世にも奇妙な物語」「平清盛」「GARO-翔-」など多数。

TEMPTU

## ■年会費口座振替のご案内

【重要】IBF国際メイクアップアーティスト正会員年会費の口座振替の事前ご案内（郵送）は控えさせていただいておりますのでご了承ください。IBFの年会費13,200円は毎年１回、会員登録時にご提出いただいた口座振替依頼書記載のご指定口座からIBFが指定した月（５月／８月／ 11月／２月のいずれか１回）に自動振替させていただいております。指定月の27日（27日が金融機関休業日の場合は翌営業日）に振替させていただきますので、前日までに口座残高の確認をお願いします。
※今回は正会員番号の上７桁が1000008又は上４桁が1008の方が対象となります。振替日は8/27（金）になりますので8/26（木）迄に残高確認をお願いします。
※振替完了通知は行っておりませんので予めご了承ください。

## ■IBF国際美容連盟のオフィシャルSNS等のご案内

美容やファッション等に関する様々な情報を配信しています。たくさんの方に良い情報を配信していきたいと思いますので、お楽しみに♪
★Facebookのページはコチラ→
**https://www.facebook.com/ibfjapan**
★Twitterのページはコチラ→**https://twitter.com/ibf_japan**
★Instagramのページはコチラ→
**https://www.instagram.com/ibf_insta/**

★NYMAのLINEページ
・パソコンからのご登録はコチラ→**https://lineat.jp/nyma**
・スマホからのご登録はコチラ→
**https://line.naver.jp/ti/p/%40nyma**
★NYMAスタッフブログのページはコチラ→
**http://ameblo.jp/nyma-make/**
★youtubeチャンネルのページはコチラ→
**https://www.youtube.com/user/nymamovie77**
★鎌林泉講師の大人ナチュラルメイクのコツはコチラ→
**https://www.nyma.jp/lp/around30/**

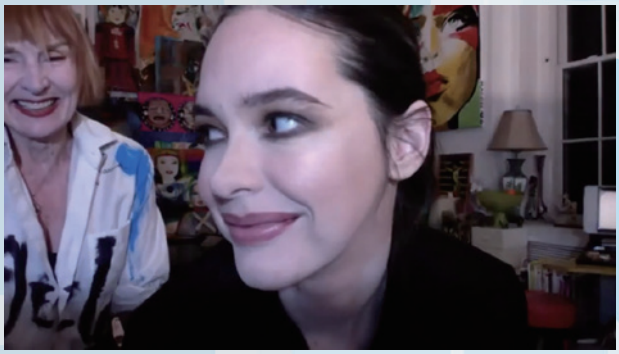
## ■求人情報

求人情報をIBF国際美容連盟ホームページで公開しております。
**URL https://www.ibf.or.jp/**
より多くの求人情報を公開できるよう、求人企業様との窓口を変更し、随時公開しています。現在までに公開した求人情報提供企業様の一例です。(現在募集終了しているものもありますのでウェブサイトでご確認ください。)

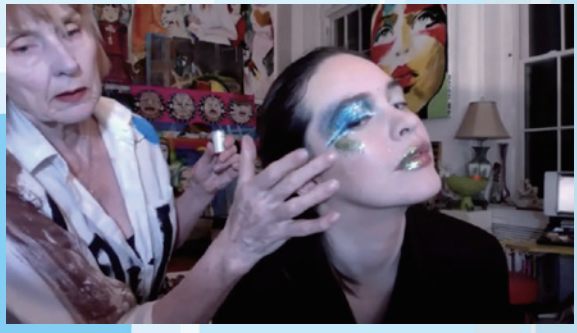
(順不同) M・A・C ／ BOBBI BROWN ／エスティローダー／RMK ／ ADDICTION ／ JILLSTUART ／ポール&ジョー ボーテ／ shu uemura ／ランコム／そごう・西武／高島屋／三越伊勢丹／ファンケル／オルビス／ちふれ化粧品／アトリエはるか／ケサランパサラン／カバーマーク／ Dior ／ジバンシイ／ THE BODY SHOP
※求人情報一覧にはパスワード入力が必要な情報も含まれますので、以下のID及びパスワードを入力の上、ご覧ください。
**ユーザー ID：user　パスワード：ibfjob**

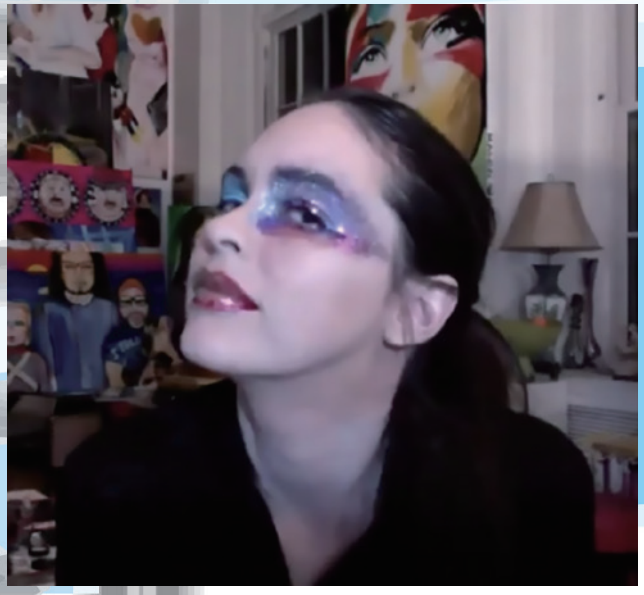
# Linda Mason -online-Live performance 2021- 2days

IBFのオンライン企画、NYのLinda MasonによるLive performance
を行いました。
今回はプログラムを変えて2回。
Day1は、「contouring / Play with glitter」
Day2は、「1920's Makeup / Freestyle-face paint」

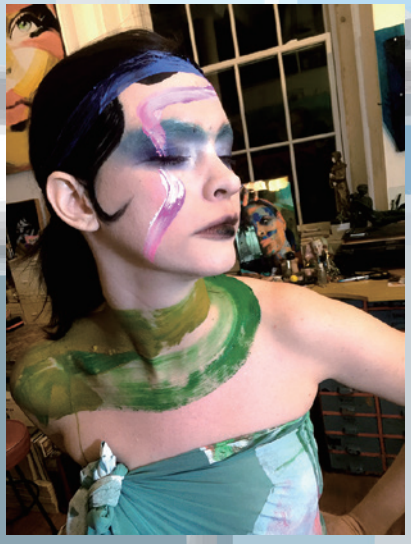


コントゥアリングとはベースメイクの手法で、顔の輪郭、あるいはパーツの輪郭を「作りこむ」メイクアップ法。ブラウンやブラック系の色使って、明暗を付けることで、メリハリのあるベースメイクを作っていきます。
アーティスティックなイメージが強いLindaですが、ベーシックなテクニックももちろん素晴らしい。後半はグリッター、ピグメント、ラメを使って「Play」するようなメイクアップを披露。
今回のモデル、NYのプロモデルLizさんもとても楽しそう。





## Day1



Day2は冒頭の自己紹介で、イッセイミヤケとのエピソードを話してくれました。
ミラノで彼のショーを見て感動したLinda、パリでのショーの時にイッセイのマネージメントスタッフの女性に直接電話をして「イッセイのショーでメイクアップがしたい！」と猛アプローチ。しかし彼女は「イッセイはメイクアップアーティストを使わないのよ」とつれない返事を繰り返す。

その時ちょうどイッセイ本人からそのスタッフに電話が入って、「メイクさんが今電話でイッセイのショーでメイクしたいってしつこいのよ」するとイッセイ本人が「OK、いいよ」と。そこから数年イッセイのショーでメイクアップに入ることができたとのこと。

まだ駆け出しだったLindaのメイクアップしたいという強い思い、情熱が奇跡のような出会いを生んだのですね。
とても勇気づけられるエピソードです。

この日は1920年代、JAZZ AGEのメイクアップ、そして、フェイスペイントというプログラム。
資生堂のプロダクトを使った眉つぶし、濃いリップで作るおちょぼ口、そしてなんとヘアスタイルはペイントで表現するというメイクを見せてくれました。

ペイントはもちろんいつものようにインプロヴィゼーション。大胆なブラシの動き、色使いに参加者も感激していました。
モデルのLizもブラシの動きに呼応し、踊るように動き、表情を作っていきます。
まるで、ショーを観ているような感覚。

参加者の声を一部紹介します。

「優しく繊細なタッチで、しかし出来上がりを見るととても勢いのあるメイクでビックリしました！素敵なセミナーでした！」

「メイクに無限の可能性を感じることができました。Lindaのメイクは出来上がりまでの過程がワクワクし楽しかったです。」

「セミナーに参加できて本当によかったです！刺激にもなりましたし、なによりワクワクが止まりません！」

次回のオンラインも企画中です！
お楽しみに！

*Day2*

# Private Photo Session for Miss Japan Grand-Prix

毎年IBFがミス日本グランプリ受賞者に副賞としてプレゼントするPrivate Photo Session。
今年はグランプリを受賞して間もない松井朝海さんが登場。

松井さんの希望するイメージをお聞きして、ヘアメイクとフォトグラファー、スタジオをIBFが用意して、フォトシュートを行うという企画です。
ヘアメイクはIBFプロチームの山田瑞穂さん、フォトグラファーは門田彩子さんが担当。

今回、プロのファッションモデルを目指す松井さんのリクエストは、コレクションのステージで映えるようなヘアメイク。「黒を基調とした、かっこよくクールなイメージ、笑わない」というもの。
撮影当日は、まずヘアメイク、フォトグラファー、松井さんで軽く打合せ、衣装確認、背景やアングルの確認をして、さっそくヘアメイクにかかります。
最初のショットはミス日本オフィシャルのもの。
淡いピンクの華やかなドレスに、ミス日本のタスキを使って撮影します。
ヘアメイクもナチュラル、清楚なイメージ。

松井さんはさすが大阪の方(？)とても明るい方で、ヘアメイク中も撮影中も笑い声が聞こえてくるとてもいい空気の中進行します。
ピンクのドレスを床に広げてほほ笑むカットでは「これブライダルの前撮りみたい〜」と
みんなで大いに盛り上がりました。

後半は、いよいよコレクションのイメージ。
シャープに協調したアイラインで、クールなイメージを表現。
昨今のコレクションメイクは、ごてごてと作りこまず、シンプルでベーシックなメイクが主流ですね。
ヘアも後ろに流して一つにまとめるごくシンプルな仕上がりです。
撮影は、松井さんのアイデアでモノクロ。
ただカラーのバージョンも見たいということだったので、ここではカラーバージョンも掲載します。

クールに「笑わない」と宣言した松井さんですが、やはり撮影に入っても、ふとした瞬間に笑顔になってしまうようで、「また私笑ってる！」と言いながらまたみんな大笑い。
それでも、レンズを向けるとしっかりと表情を作り、かっこいい写真がたくさん撮れました。
サイコロを使ったショットでは、バランスを取るのがなかなか難しく、ポージングに苦労していましたが、アングルやポーズにも積極的にアイデアを出していただいた松井さんおつかれさまでした。
何年か経ってパリコレのランウェイを歩くようになってから、今日の写真を懐かしく思い出してください。

# Hair & Makeup for theater play promotion

## 舞台演劇プロモーションポスター撮影ヘアメイク

IBFがヘアメイク協力をする舞台「私を代わりに刑務所に入れてください」。
昨年残念ながらコロナ禍で延期になってしまいましたが、2021年7月に公演予定です。
そのプロモーション素材撮影が都内某廃墟スタジオで行われました。
出演者20名ほどが集まり、順番にヘアメイクから個別撮影、そしてムービー撮影
最後に全員で集合写真撮影というスケジュール。

事前ロケハンでスタジオを訪問し、フォトグラファーさんや舞台関係者と打ち合わせをし、コロナ感染対策などについても確認。
さらに廃墟スタジオなので、ヘアメイクの場所が非常に暗かったため、照明を焚いてほしい、またヘアメイク人数が5名と多めなので、ドライヤー、アイロンなどを使うための電源、電力の確認などについても打合せ。
当日の進行、香盤表は？ などなど結構事前に確認すべき重要事項はたくさんあります。

これを仕切る当日のディレクターさんも相当大変だったと思います。
ありがとうございました。

当日は朝、最寄り駅に集合したのはIBFプロチームを中心にしたヘアメイク組5名。
さすが、誰も遅刻しません(当たり前か)
スタジオに入って、さっそくセッティング。
狭い、暗いということは既に事前に伝えてありますので、皆さん素早くセッティングをしていきます。
ヘアメイクが5名なので、まずは出演者5名をヘアメイク、終了した方から個別スチール撮影、これを4回ほど繰り返したところで概ねontimeで進行しています。

男性の出演者も多かったため、若干男性のヘアで手間取るシーンもありましたが、5名のヘアメイクがいるとお互いヘルプしながら進められるので心強いですね。

各自ちょっとだけ休憩を入れて後半戦です。
まずは、男性数名にケンカのときのアザを作る特殊メイク。この日IBFが用意したのは、Mehronのアザ用クリームパレット。ドーランとも呼ばれる油性の練りものですね。
怪我をした直後の赤、時間経過とともに茶色、青色を経て緑色、そしてほぼ治癒した黄色と様々な状況のアザを作ることができるプロ用化粧品です。
アザをどこに付けるか？ どのくらいの大きさ？などは全く指示が出ていないため、ヘアメイクさんがある程度決めて作っていきます。

ほぼ出来てきたら仕上げる前にディレクター（今回撮影のイメージ担当）に必ずチェックしてもらいます。
これはとても重要で、例えば出演者本人に最終確認してもらったり、カメラマンに確認したりしても、最終決定権者ではないので、いざ撮影の時に混乱することになりかねません。
撮影のイメージを決める決定権を誰が持っているのか事前に確実に共有しておきましょう。
これ、世界共通です。

無事アザメイクも終わり、屋上に出て乱闘シーンのムービー撮影、集合写真などを撮影します。今回はドローンを使った撮影を導入。
ドローンでの撮影は初めて見ましたが、すごいですね！
すぐ目の前でホバリングしていたと思うと、あっという間に上空高く旋回している。
スピードも速いですし、小回りが利く、そして搭載しているカメラもかなり高性能。
貴重な体験をさせていただきました。

ヘアメイクチームの皆様
おつかれさまでした！

**公演情報**

舞台　【私を代わりに刑務所に入れてください　非行少年から更生支援者へ】
原作：「私を代わりに刑務所に入れてください　非行少年から更生支援者へ」／野田　詠氏
主催：「私を代わりに刑務所に入れてください」舞台製作委員会
後援：法務省　矯正局　保護局（社会を明るくする運動）／吉本興業
　　一般社団法人HFS ／ NPO法人チェンジングライフ
協賛：麗タレントプロモーション／一般社団法人IBF国際美容連盟／いのちのことば社

＜2021年7月2日～4日＞　新宿　シアターサンモール
2日（金）①14:00、②19:00／3日（土）①14:00、②19:00／4日（日）①15:00　※全5回公演

※公演詳細はこちら　https://itachoukinuta.wixsite.com/prison

# Artist Interview

-MiU-

今回ご紹介するのはParisで活躍中のメイクアップアーティストMiUさん。
知人もコネも無く、現地でアシスタントにつくこともない中、フリーで仕事ができるようになるまでとても大変だったと思います。
コロナ禍ではパリも何度もロックダウンを繰り返し、おそらく日本以上に苦しい時期が続いていますが、パリ、そして世界が早く動き出すことを願います。

Q１．まずは簡単に自己紹介をお願いします。
A１．“感性は環境で磨かれる”と信じ、2007年に渡仏。パリを中心にヨーロッパでヘアメイクの仕事をしています。主な仕事内容は、ブライダルやイベントへ出席される一般の方へのヘアメイクです。パリには、いろんな人種の方がいらっしゃるので、ヨーロッパ系だけでなく、アジア系、アラブ系などのお客様からの依頼もあります。
日本からのお客様も多く、在仏日本大使館からの依頼もあるので、時には政府関係者様へのヘアメイクも担当しています。
経験したことのない仕事でも、とにかく挑戦する！ というのが私のモットーです。私自身のヘアメイクの特徴としては、パリのモードやファッション系のメイクアップが好きで渡仏したので、シンプルでクールな印象のヘアメイクが得意です。

Q２．メイクアップアーティストになろうと思ったきっかけは？
A２．大学卒業後、就職していたのですが事務職が合わず、転職を志しました。その時にひらめいたのが、メイクアップアーティストでした。元々、海外で働くことが漠然とした夢で、どのようにアプローチするかを模索していたこともあり、世界共通のメイクアップ技術を習得することは、とても有益なことのように感じたのです。

Q３．メイクアップの技術はどのようにして学びましたか？
A３．メイクアップ技術は、日本の専門学校へ働きながら通い、習得しました。最初に通ったスクールではレッスン内容やスケジュールなどが物足りず、メイクアップ技術を徹底的に教えてくれるスクールに入りなおし、後に、そのスクールのメイク講師を務めることになりました。フランスでは、まずは語学学校へ通うことからスタートし、知人もコネもないところから少しづつ作品を増やし、仕事につなげていきました。

Q４．メイクアップのインスピレーションはどこからゲットしていますか？
A４．映画や広告、ファンション誌、SNSから得ることが多いです。フランスでは、日本ほど流行りのスタイルはないのですが、人種の違いによりメイクが異なることがあります。とにかく、いろんな人種の顔の特徴とメイクに注目するようにしています。

Q５．好きな画家、アーティストはいますか？
A５．マティス、モネ、ピカソ。

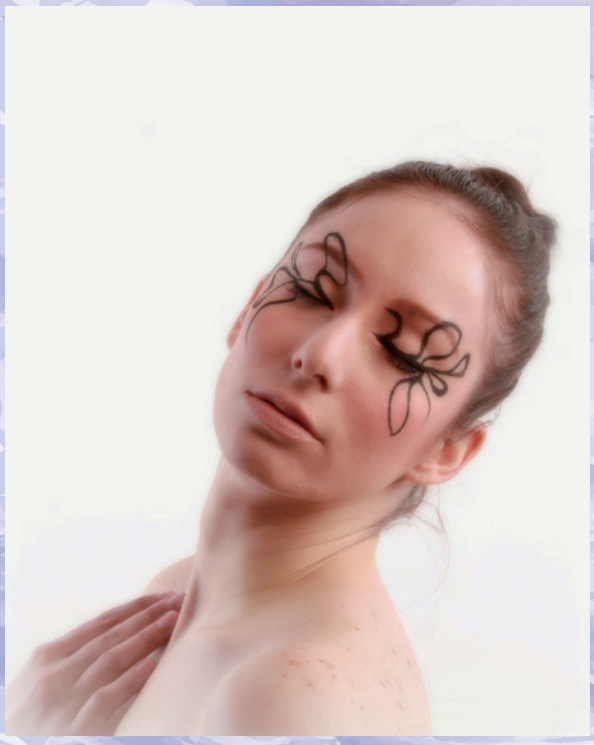
Q６．好きな映画は？
A６．ドリーム、ミッドナイト・イン・パリ、エディット・ピアフ～愛の賛歌～、ドリームガールズ。

Q７．東京、あるいは日本とParisのヘアメイク事情で一番の違いは何ですか？
A７．一番の違いは、日本でいう“可愛い”スタイルが存在しません。そもそも、“可愛い”という表現は子供や動物に使う表現なので、大人の女性には“美しい”とか、“クール”、“セクシー”を使います。ヘアメイクも同様に、日本で“可愛い”とウケがいいメイクは、フランスではウケません。

Q8. 普段気に入って使っているメイク道具、化粧品をいくつか教えてください。
A8. 仕事に使っているのは主に、M･A･C、Morphe、Makeup Foreverの商品です。撮影の仕事が多いので、発色が良いものを選んでいます。アイシャドウなら、Morphe。パレットの種類が多いのでおすすめです。ファンデーションはM･A･CのStudio Fix。ボディ用や舞台メイクなどは、Makeup Foreverで揃えています。

Q9. あなたの夢、将来の希望を聞かせてください。
A9. 今は主にパリでの仕事なので、もう少し活動範囲を広げたいと考えています。特にロンドンは、文化もファッションも気になる場所なので、パリーロンドン間を行き来するようになりたいと思っています。

Q10. 最後に日本のメイクスクールの生徒たちにメッセージをお願いします。
A10. 自分がメイクを始めた頃や駆け出しの頃を、よく覚えています。イメージはできていても、うまく仕上がらないもどかしさや、何をどうすればプロに早くなれるのか手探りな日々。
“技術を売って生きていく”というのは、とても大変な道です。一番大切なことは、やはり技術です。自分の技術に自信が持てるまでしっかり磨くことが第一段階。
私の場合は、スクールを2校通うことになりましたが、そこで身に着けた技術は海外でも通用し、いろんなジャンルにも挑戦できるような技術です。もし、海外で働きたいと考えている方は、なおさら技術が必要です。最初の仕事で良い評価をもらえなければ2回目はないという実力社会です。そして、その次に発想力、想像力が必要となります。感性を磨くことです。感性は自分を置く場所に影響されると考えたので、私はパリを選びましたが、日本でも柔軟な発想力は身に付くはずです。それに加えて、海外で活動を広げるためには、語学力と、その国の人たちに溶け込むことも必要です。撮影ともなれば、チームの一員となるわけですから、感性や目標を共有する必要があります。



フリーランスとなれば、報酬の交渉も行わなければなりません。海外生活だけでも大変なので、最初はパニックです！ ですが、何かに挑戦し、失敗しながらでも前に進む人生は悪くありません。

昔は皆さんと同じ立ち位置にいた私が続けられているのは、単に“好きだから”ということだけです。
私からの一番のメッセージは、この気持ちだけは持ち続けてほしいということです。
どんな困難があっても、諦めずに続けていくことが一番大切ですから！

Photographer：
Yannick Verdier Monsegur
http://y-vm.com/

ja.miuetoile.com
Instagram @miumuaparis,
@miumakeupparis